

大阪市消防局から提供のあった火遊び火災の状況について

(独)製品評価技術基盤機構

平成16年から平成20年に起こったライターによる火遊び火災について大阪市消防局から入手した情報によると、当該期間に発生した火災件数は131件であった。

1. 火災の内訳(発生場所、焼損の程度、身体被害)

発生場所		焼損の程度		身体被害の状況	
屋内	62	小火	58	死亡	1
屋外	69	部分焼	15	負傷	16
合計	131	半焼	2	(死亡及び負傷)	(1)
		全焼	1	被害なし	115
		情報なし	55	合計	131
		合計	131		

2. 子供の年齢別区分

行為者年齢がと特定できる火災(55件)において、5歳未満のいたずらによる火災の割合は18%であった。

子供の年齢別		年齢が把握できる火災での内訳	
3歳	6	3歳	6
4歳	4	4歳	4
5歳	8	5歳	8
6歳	5	6歳	5
7歳	4	7歳	4
8歳	3	8歳	3
9歳	6	9歳	6
10歳	3	10歳	3
11歳	3	11歳	3
12歳	4	12歳	4
13歳	5	13歳	5
14歳	3	14歳	3
15歳	1	15歳	1
子供	63	合計	55
男児	4		
児童	1		
少年	4		
中学生	5		
合計	132		

4歳、7歳の複数名によるものが1件

3. 死亡、負傷別にみた子供の年齢

年齢	死亡(人数)	負傷(人数)	火災件数
3歳		3(4)	6
4歳		1(2)	4
5歳		1(1)	8
6歳	1(1)	3(5)	5
7歳		1(2)	4
8歳		1(1)	3
9歳		1(1)	6
10歳			3
11歳			3
12歳			4
13歳		2(3)	5
14歳			3
15歳			1
子供			63
男児			4
児童		1(2)	1
少年		2(8)	4
中学生			5
合計	1(1)	16(29)	132

年齢が判明した中では、10歳未満に負傷者が多く発生している。

(参考) 東京消防庁との比較

東京消防庁(行為者年齢が特定できたもの)					
	ディスプレイ ザブル	注入式	合計	点火棒	ノベルティ ライター
0歳			0		
1歳			0		
2歳	1	2	3	1	
3歳	5		5		
4歳	8		8	2	
5歳	9		9	1	
6歳	4		4	1	
7歳	8		8		1
8歳	7		7		
9歳	4		4	2	
10歳	4		4		
11歳	4	1	5	1	
12歳	4	1	5	1	
合計	58	4	62	9	1

東京消防庁(H11～H20)		大阪市消防局(H16～H20)	
年齢	件数	年齢	件数
0歳		0歳	
1歳		1歳	
2歳	3	2歳	
3歳	5	3歳	6
4歳	8	4歳	4
5歳	9	5歳	8
6歳	4	6歳	5
7歳	8	7歳	4
8歳	7	8歳	3
9歳	4	9歳	6
10歳	4	10歳	3
11歳	5	11歳	3
12歳	5	12歳	4
13歳		13歳	5
14歳		14歳	3
15歳		15歳	1
合計	62	合計	55